

平成30年5月19日（土）
愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課
感染症グループ
担当 長尾、久野
内線 3160、3161
ダイヤル 052-954-6272

麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起について（第4報）

平成30年5月17日（木）、豊田市内の病院（以下、「病院A」という。）から豊田市保健所に、麻しんの疑いの報告があり、県衛生研究所で遺伝子検査を実施したところ、5月18日（金）に陽性であることが判明しました。

この報告に基づき、愛知県瀬戸保健所が患者の疫学調査を実施したところ、瀬戸市の下記の施設を利用していたことが分かりました。

本公表は、接触者が特定できない次の施設を利用しており、患者と接触した方が麻しんに感染している可能性があるために、広く情報提供するものです。

記

【麻しん患者が利用し、不特定多数の方と接触した可能性のある施設】

患者が利用した時間帯	施設	所在地
5月12日（土）又は5月13日（日）	スーパーA	瀬戸市

※ 上記施設を利用して患者さんと接触した可能性のある方などで、麻しんを疑う症状が現れた場合は、事前に医療機関に連絡の上、速やかに受診するように促していきます。

1 患者概要

患者：30歳代 男性（瀬戸市在住） 運送業
麻しん予防接種歴有り（1回）、海外及び沖縄への旅行歴無し
主な症状：発熱、咳、結膜充血、発疹等

2 経過

5月11日（金） 職場（みよし市）
12日（土） 発熱（40℃台の発熱）
12日又は13日 スーパーA利用
14～17日 職場（みよし市）
17日（木） 発疹出現、みよし市内の診療所（以下、「診療所A」という。）
及び病院Aを受診
18日（金） 県衛生研究所による遺伝子検査の結果、麻しんと確定

※ 患者が利用した施設への移動について公共交通機関の利用はありません。

※ 職場及び運送先企業（名古屋市、豊橋市、豊川市、小牧市、弥富市、みよし市、三重県四日市市）並びに診療所A、病院Aにおいて麻しん患者と接触した可能性のある方については、管轄保健所等が健康観察を実施します。

本情報提供は、感染症予防啓発のために行うものですので、報道機関各位におかれましては、患者等の個人に係る情報について、プライバシー保護等の観点から、提供資料の範囲内での報道に、格段の御配慮をお願いします。

麻しん（はしか）について

(1) 麻しん（はしか）とは

主な症状	<p>38℃前後の発熱が2～4日間続き、咳や鼻水といった風邪のような症状が出ます。その後、高熱（多くは39℃以上）が出るとともに、発疹が出現します。その後、多くは7～10日で症状が回復します。</p> <p>肺炎や中耳炎を合併することがあり、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発生するとされています。</p>
感染経路	<p>空気感染*、飛沫感染、接触感染によりヒトからヒトに感染が伝播します。その感染力は非常に強いと言われており、感染する期間は、発症の1日前から解熱後3日頃までとされています。</p> <p>免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。</p> <p>* 麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下と言われています。</p>
潜伏期間	約10日～12日間
治療法	特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。
予防方法	<ul style="list-style-type: none"> 麻しんは感染力が強く、手洗い、マスクのみで予防はできないため、麻しんの予防接種が最も有効です。海外渡航、沖縄旅行を計画している方、麻しんのワクチンを2回接種していない方等は、予防接種を検討することをお勧めします。 麻しん流行時の緊急避難的な対応として、生後6か月～12か月未満のお子様について任意接種によるワクチン接種を行うことができます。 麻しん患者と接触した場合、接触後72時間以内であれば緊急ワクチン接種により発病を予防できる可能性があります。

(2) 麻しんが疑われる場合について

麻しん患者と接触した場合は、発病までの期間を考慮し、接触後14日間（最大21日間）の健康観察が必要です。

発熱、発疹等の症状から「麻しん」が疑われる場合は、必ずマスクを着用し、**事前に医療機関に「麻しんかもしれない」ことを連絡の上、速やかに受診してください。**また、受診の際は、周囲の方へ感染を拡げないように、**公共交通機関等の利用を避けてください。**心配なこと等ありましたら、最寄りの保健所にご連絡ください。

(3) 全国及び本県における麻しんの発生状況

年次	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
全国	229	462	35	165	189	125 (1/1～5/6まで)
愛知県	25	46	0	5	1	25 (1/1～5/18まで)

* 平成29年、30年は速報値

(4) 沖縄県での麻しんの発生状況

沖縄県では平成30年3月20日に麻しんと診断された台湾からの旅行者を発端に、この旅行者と接触歴のあった者や同じ施設を利用した者を中心に断続的に感染者が増加しており、**5月17日時点で99名の患者**が報告されています。

愛知県における麻しん患者発生状況（平成30年4月から平成30年5月18日まで）

患者No	年齢	性別	居住地	予防接種歴	発症日	検査確認日	推定感染地	備考
1	10歳代	男性	名古屋市	なし	4月6日	4月11日	沖縄県	3/28~4/2沖縄旅行
2	30歳代	女性	豊山町	不明	4月18日	4月21日	No. 1の受診医療機関 (名古屋第二赤十字病院)	医療事務として勤務
3	10歳代	女性	名古屋市	なし	4月19日	4月23日		受診者
4	10歳代	女性	名古屋市	なし	4月19日			受診者
5	1歳	女性	東郷町	1回接種※1	4月20日	4月24日		No. 1の受診医療機関 (東郷町)
6	20歳代	女性	名古屋市	1回接種	4月20日	4月24日	No. 1の受診医療機関 (名古屋第二赤十字病院)	医療事務として勤務
7	30歳代	女性	名古屋市	1回接種	4月19日	4月24日		看護助手として勤務
8	20歳代	女性	瀬戸市	1回接種	4月19日	4月24日		受診者
9	30歳代	女性	名古屋市	不明	4月18日	4月25日		付添者
10	30歳代	女性	東郷町	不明	4月24日	4月25日	No. 1の受診医療機関 (東郷町)	付添者
11	20歳代	女性	名古屋市	1回接種	4月27日	5月1日	No. 9の自宅	親戚
12	20歳代	女性	名古屋市	不明	4月28日	5月1日	No. 9の受診時の付添	親戚
13	30歳代	女性	三重県 桑名市	2回接種※2	4月24日	5月1日	No. 1, No. 2と接触の可能性 (名古屋第二赤十字病院)	医療事務として勤務
14	20歳代	女性	名古屋市	なし	4月26日	5月1日	タイ	4/14~4/16タイ旅行
15	10歳代	男性	名古屋市	2回接種	5月2日	5月5日	No. 3, No. 4の通学中学校	No. 3, No. 4と 同じ中学校 の生徒
16	10歳代	男性	名古屋市	1回接種	5月3日	5月5日		
17	30歳代	女性	東郷町	1回接種	5月3日	5月5日	家族内感染	No. 5の母親
18	20歳代	女性	名古屋市	1回接種	5月6日	5月11日	No. 9の受診医療機関 (守山区)	
19	2歳	男性	名古屋市	なし	5月2日	5月11日	No. 9と接触	No. 12の子
20	30歳代	男性	名古屋市	1回接種	5月7日	5月11日	不明	
21	10歳代	女性	名古屋市	なし	4月29日	5月12日	No. 3, No. 4の通学中学校	
22	10歳代	女性	名古屋市	なし	5月9日	5月12日	No. 21と接触	No. 21の姉
23	20歳代	男性	名古屋市	不明	5月12日	5月13日	No. 12, 19と接触	No. 12, 19の家族
24	30歳代	男性	瀬戸市	1回接種	5月12日	5月18日	不明	

※1 No. 1と接触した翌日に定期接種

※2 4月23日に2回目のMRワクチンを接種